

さかみち



大船渡高等学校PTA会報 第90号 平成28年2月29日発行

特集 旅立ち～卒業に寄せて～……2～3

校長 菊池 優『「何でどす」の心を育む』……4

PTA会長 遠藤健司『耕不尽』……5

各種委員会活動報告……4～5

全国高P連岩手大会参加報告……6～7

修学旅行……8～9

部・同好会活動報告……10～11

全国・東北大会出場に向けて……11

卒業生からのメッセージ……12

平成元年度卒業生 木村文律さん

編集後記……12



8月8日 吹奏楽サマーコンサート



8月29～30日 大高祭 クラスバトル



8月29～30日 大高祭 茶会



8月8日 吹奏楽サマーコンサート



【表紙写真について】

晩秋の朝の大高坂の登校風景です。

「学び」の象徴である銀杏が美しく紅葉してくる季節になると、受験生たちの授業もより一層熱気を帯びてきます。

春には、美しい花を咲かせたいものです。

大船渡高等学校PTA会報 第90号

卒業おめでとう

男子の母

サクラサク、希望にふくらんだ胸が、時にはしほみ、ひびが入り。苦悩、葛藤、現実逃避。ハラハラしました。今では笑い話ですが。これからも困難は自らの力で乗り越えようと信じてます。先生方、3年間、本当にありがとうございました。感謝致します。

息子へ

男子の母

良き先生方、良き友人たちに恵まれ過ごした3年間でした。幸せな高校生活を送れたことは、決して「あたり前」のことではありません。周囲の人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、そしてこれからも良き出会いを重ねながら生きてくれることを願っています。卒業おめでとう。

卒業おめでとう

女子の母

たくさんの友達と出逢い楽しい高校生活でしたね。友達は一生の宝です。大事にして下さい。そして4月から大学生活が始まります。貴女の人生を左右します。目標に向かって頑張って歩いて下さい。先生方には、3年間ご指導頂き、感謝致します。おかげ様です。素晴らしい旅立ちが出来ます。ありがとうございました。

先生方に感謝

男子の父

夢に描いていたような楽しいことばかりではなく、いくつも試練があり、苦しい高校生活だったようにも思います。しかし、友達や先生方に支えられ、何とか3年間を過ごすことができました。先生方には親身に寄り添っていただき、遅い時間までご指導いただきました。本当にありがとうございました。

卒業後も色々なことがあると思いますが、物事を前向きに捉えて進んでほしいと思います。

感謝

女子の父

「大高に入って良かったあ。」娘の率直な感想です。大高に入学して3年間、友達や先生方にめぐまれ、充実した生活を送っていたことは、親の目からみても、その通りでした。娘がこのような過ごせたことは、関わっていただいた先生方や友達のおかげだと思います。ありがとうございました。

3年生のみなさん、卒業おめでとう!!

卒業

男子の母

卒業おめでとう。いろんな事を考えすぎる君は、毎日が不安と緊張の日々だった様な気がします。卒業近くなってやっとその気持ちもほぐれてきたのですが、これから先長い人生が待っています。自分を信じて進んで下さい。

家族は、いつもあなたの味方です。最後に御指導して下さいました先生方と個性豊かなクラスの仲間達に感謝致します。ありがとうございました。

卒業おめでとう

女子の母

高校3年間、色々な事がありました。部活に勉強に頑張りました。そして小・中・高と、一日も休まず学校へ通った事は、何よりも素晴らしいと思います。これから、親元を離れての大学生活。不安でいっぱいだと思いますが、自分の目標に向かって頑張ってください。いつも応援しています。そして、先生方には熱心なご指導をいただき心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



旅立ち
卒業

卒業おめでとう

女子の母

娘が中3の卒業文集だったのでしょうか、「大高に入るのは簡単、入ってからが難しい」と書いたのを今思い出します。娘よその通りでしたね。現実を知り、大変だと悩み不安な時もあったけど、3年間頑張りました。先生方に感謝です。いつでも姉の後ろを追いかけてきた娘も、この春からは1人暮らし。親としては不安だらけですが、娘よ「大高の卒業生です」と誇りを持ち、自分の夢に向かって前進だ。頑張れよ!! ~先生方娘2人、震災の年から5年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。~

未来への扉は開かれた

男子の母

高校生活はどうだった? 勉強ばかりのイメージだけどそんなことなかったね。部活動も学校行事も全力で取り組んだから楽しかったよね。これからは今まで以上に勉強、生活共大変になるかもしれないけど違った環境、人、文化に触れることは大事だからね。父と母はいつも、いつまでも応援しています。

先生、クラスメイトに感謝

女子の母

授業中、珍回答をする娘（笑）、普段でも友達の前で珍行動をしてしまう娘に、先生やクラスの皆があたたかく見守ってくれたおかげでとても楽しい高校生活を送る事が出来ました。部活動と勉強の両立はとても大変そうでしたが、持ち前のファイトとプラス思考な性格が幸となり、何より友達に助けられ、そして早い受験でしたが、面接で不安な娘にたくさんの先生方が忙しい中ご指導くださったおかげで、進路が決定いたしました。報告の際には涙を流し喜んでくれた先生もいたと聞き、本当に娘は友達と先生に恵まれた3年間を過ごせました。

4月からの生活に「珍行動」ではいられないので責任を持ち充実した生活を送ってほしいです。

卒業おめでとう

男子の父

入学式がつい先日のように思えます。3年間はあっという間でした。これからは、自分の考えた道を進んでいくことになります。大変なことは沢山あるでしょう。でも失敗することを恐れずに、自分に負けずに進んで行ってください。

感謝

女子の母

卒業おめでとう。あっという間の3年間。運動部に入部した時、勉強と両立できるか心配だったけど、素晴らしい仲間、先生方に支えられてきたお陰で、充実した楽しい高校生活をおくることができました。皆さんに感謝です。娘よ、次の目標に向かって頑張ってください。

卒業おめでとう ～娘へ～

女子の母

入学当初、課題の多さに途方に暮れていたことが、今では懐しいくらいですね。朝6時に家を出て、9時半に帰宅する生活、よく頑張ったと思います。心配することも多かったけれど、「大高に入って良かった」という言葉を聞くたびに親は安堵したものです。先生にも友達にも恵まれ充実した3年間を送れたことに感謝します。そして、今のこの気持ちを忘れずに、親子共々精進していきましょう。

支えてくれた人に感謝

男子の母

この3年間、本当にあっという間だったね。中でも部活は実質2年ちょっとと短い間でした。初めてやるスポーツは想像以上にハードで大変だったと思います。でも最後までやりとげることができたのは、一緒に活動してきた仲間と教えてくれた先生方の支えがあったからだと思います。これからも今まで自分の回りにいてくれた人たちに感謝の気持ちを忘れずにどんどん新しいことに挑戦して行ってほしいと思います。頑張れ!!

ありがとう

女子の母

勉強はイマイチの娘でしたが、そんな娘が毎日楽しく過ごせたのも、指導や相談にのってくださった先生方や友達に支えられていたからだと思います。親の方も楽しませてもらいました。

これから、社会へ出るわけですが、高校生活の経験を活かして大人になって行ってほしいと思います。皆さん、ありがとうございました。

卒業おめでとう

女子の父

ドキドキしながら校門をくぐったあの日からはや3年。本当に3年間はあっという間でした。高校生活で学んだことを次につなげて大学生生活でも頑張ってください。恵まれた環境の中で大切な仲間とすばらしい先生方のもとで勉強させていただいたことに感謝しています。ありがとうございました。

卒業おめでとう

女子の母

勉強に部活にづらい時もあったのですが、黙々と努力する姿に我が子ながら感心しました。大高で鍛えられた根性があれば、これからもきっと大丈夫。先生方、皆さん、3年間ありがとうございました。

日直



『何でどす』の心を育む』

校長 菊池 優

卒業生の皆さん卒業おめでとうございます。

そして、保護者の皆様におかれましては心からお祝い申し上げますとともに本校の教育活動に対しましてご理解ご協力、ご支援いただきましたことに感謝申し上げます。

さて、NHK連続テレビ小説『朝が来た』が好評です。私も帰宅後録画したものを見ることが楽しみとなりまた日課となっています。

物語は、幕末から明治維新が成立し政治も経済も混乱する中、女性の実業家などほとんど存在しなかった時代に、自ら炭鉱事業や銀行事業・生命保険事業などの経営に携わり嫁ぎ先の家業の隆盛のために奔走し、一方では日本初の女子大学校（日本女子大）の設立に尽力した主人公あさ（広岡浅子）の生き方を描いた作品です。

この物語で、あさは口癖の「何でどす。」を繰り返して周りを困らせます。幼いころから木に登り、相撲を取るなど、既成の枠にはまらない感覚を持ち、また「何でどす。」を繰り返し、物事を深く追求しようとする人間性が、事業家としての活躍に結び付いたのではないかと推察します。

さて、この京都弁で表現される「何でどす。」は、所謂「なぜ・どうして」ということになります。

あさの繰り返すこのことばは、松下幸之助の『問わずして進歩なし』という言葉と通じます。

松下幸之助はこの言葉を『日に新たであるためにはいつも「なぜ」と問わなければならない。素直で私心なく、熱心で一所懸命ならば、「なぜ」と問うネタは随所にある。問う事をしないで今日は昨日の如く、明日も今日の如く、十年一日の如き姿に堕したとき、その人の進歩はとまる。社会の進歩もとまる。』と説明しています。

震災から5年が経とうとしている今、これからの地域づくりが重要な課題となります。その時は以前の型にとらわれず新しい地域を再生させる視点で『何でどす』を問い、10年後・20年後の大船渡や気仙地域が『びっくりぼん』の発展を遂げその中心で活躍する皆さんの姿があることを期待します。

各種委員会報告

研修委員会

研修委員会 平田 幸江

案内周知が課題だった昨年の研修旅行の反省を活かし、今年はチラシが親元に届くように文化祭の受付で配布しました。また、初めて大高生の親となり、高校生活や進路についてどのように対処していけばよいのか？色々な地域から入学し、普段顔を合わせる機会のない会員同士の交流の場が持てれば等の意見が交わされました。共通していたのは、子供たちが育つ環境をよりよいものにするため、保護者同士や学校・地域が良い関係を築き、互いに生きた情報を享受することが大切と感じていたことです。

そこで会員交流も兼ねたバスツアーで、商家の蔵が立ち並ぶ秋田県増田へ行きました。知れば知るほど、歴史的建造物の奥深さに、にわか歴女になって感心しきりでした。自己紹介や「Do you know 大高？」クイズで和み、昼食は秋田名物の稲庭うどんに満足し、終始にぎやかな研修旅行となりました。

研修委員としての3年間は学校生活が垣間見え、たくさんの方々と会えたご縁で楽しく活動できました。さらに活動が推進されますようご協力をお願いいたします。



健全育成委員会

健全育成委員会 鈴木 博文

皆様に日頃よりご協力頂き感謝申し上げます。この健全育成委員会の活動は、「登校時の朝の一声運動」として、元気に挨拶を行う活動です。朝にはちょっとと思われる面子のおじさん達と慌ただしく忙しい中参加して頂いたお母さん達、その中でも、爽やかな生活委員の生徒達が一緒に一人一人に挨拶を行う。「おはようございます。」短く簡単に誰にでもできるコミュニケーションです。目と目を合わせ、一言の挨拶にその人の心が映し出される感じがしました。今後もチョットの生徒達との関わりではありますが、「一声」を大切に活動して行ってほしいと願っております。



『耕不尽』

PTA会長 遠藤 健司

卒業生の皆さん、保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。震災から5年になろうとしています。まだまだ復興の道のりは遠いように思います。このような状況の中、大高生の礼儀正しさや元気な姿、勉強や部活動、ボランティアにと一生懸命取り組んだ姿勢は、地域の方々に勇気と元気を届けられたことと思います。皆さんは、被災者から復興者として自分の夢に向かって様々な道に進まれます。今後の活躍を楽しみにしております。

以前、成功を収めた高齢の経営者に「なぜ、今でも勉強されているのですか？」と聞いたことがあります。「風呂に入って体の垢を落とすように、日々頭の中に溜まる固定観念や偏見という垢を落とすには、人の話や書物などから刺激を受けリセットすることが必要だ。」と教えられました。

毎年PTA活動を通じ様々な刺激を戴いております。特に今年度は、第65回全国高等学校PTA連合会岩手大会が開催され、本校からも沢山の方々にご参加頂きました。普段聴くことの出来ない方の話や大会の雰囲気は大いに感じ、刺激を受けられたことと思います。

また、本校PTA活動の恒例になりました、文化祭や体育祭での母親委員会の出店、健全育成委員会の朝の挨拶運動、秋田への研修旅行、広報委員会のレベルの高い「さかみち」の製作等、通常の生活では考えられない様々な出会いやチャンス、沢山の学びがありました。先輩方から引継いだ伝統と新しいことへのチャレンジで素晴らしい活動が出来ました。まさに『耕不尽』だと思います。

最後になりますが、保護者の皆様に於かれましては、3年間PTA活動にご協力戴き誠にありがとうございました。会長として何もわからず、何も出来ませんでした。子供を通じて皆様に会えたこと、皆様に支えられ無事活動出来ましたことに心より感謝申し上げます。有難う御座いました。

各種委員会報告

広報委員会

広報委員会 菊地 正徳

大高PTA会員の皆様、今年度も広報委員会の活動にあたりご協力いただきまして大変ありがとうございました。

当委員会では、7月と3月の合計2回PTA会報「さかみち」を発行することができました。発行にあたっては、1号につき2回から3回の集まりを持ち、内容や構成を委員の皆さんで検討しました。記事の収集や依頼、文書配布などは先生にやっていただくことが多く、とても助かりました。ありがとうございました。

内容で一番頭を悩ませたのは、卒業生からのメッセージをどなたに依頼するかでした。号を重ねるごとに「さて、次はどのような人に依頼したらよいものか。」とみなさんで知恵を絞る時間が長くなってきたようにも思います。幸い今年度も依頼した方に快く承諾していただき、掲載することができました。本当に感謝です。今後、大高卒の会員のどなたかに依頼の話があるかもしれませんが、その時は快く承諾していただくと大変助かります。

最後になりますが、活動が円滑に進むように段取りをしてくださった先生方、一緒に活動してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

今後とも「大船渡高校PTA広報委員会」の活動に、ご理解とご協力をお願い致します。

母親委員会

母親委員会 上野 由美

大船渡高校PTA会員の皆様、日頃より母親委員会の活動にご協力いただき感謝申し上げます。

母親委員会の活動は、クラスマッチ、文化祭での「ママショップ」の運営がメインになります。今年も母親委員の方、お手伝いしたいというPTA会員の方と仕入から販売まで行い、制服を着ている姿とはまた違った生徒達や、生徒を相手に本気で試合をする先生方とふれ合い、母親同志のおしゃべりなど楽しい時間を過ごす事が出来ました。

母親委員として8年間、震災後は特に何が出来るという事を常に考え、新しい事も取り入れ活動してきました。春、娘の卒業と共に、私も母親委員、PTA会員を卒業します。全国高P連大会、県高P連母親委員交流会に参加し、各高校の活動などとても興味深く、勉強する事ができました。このような場へ推して下さった先生方、母親委員、PTA会員の皆様に支えられ活動出来ました事に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

最後になりますが、これからも「母親委員会」の活動にご理解とご協力をお願い致します。

第65回全国高等学校PTA連合会大会 岩手大会に参加して

今年は、高等学校PTA連合会全国大会が岩手で開催されました。

本校からも、校長、PTA会長をはじめ、保護者、職員計13名が参加しました。本校関係者が参加した行事をご紹介します。

● 8月20日（木）大会第1日目（盛岡市アイスアリーナ）

9:00～ 9:30 アトラクション

①岩泉高等学校郷土芸能同好会

②北上翔南高等学校鬼剣舞部

9:40～10:40 開会式 表彰式

10:50～11:50 基調講演 村上雅人氏（芝浦工業大学学長）

「夢高くして足地にあり The sky is the limit」

12:00～12:50 昼食 アトラクション

①花巻北高等学校応援団

②大船渡東高等学校太鼓部

14:00～16:30 第1分科会

「学校教育とPTA～生きる力を育む教育とPTA活動」

助言者 新妻二男氏（岩手大学教育学部学部長）

平藤 淳氏（不来方高等学校校長）

発表者 青木行雄氏（群馬県立前橋西高等学校PTA会長）

山元史子氏（長野県松本深志高等学校PTA会長）

青木裕一氏（岐阜県立高山工業高等学校育友会会長）

綾由香里氏（大分県立日出総合高等学校PTA副会長）



● 8月21日（金）大会第2日目（岩手産業文化センター「アピオ」）

9:00～ 9:50 アトラクション

①盛岡市立高等学校吹奏楽部

②盛岡第二高等学校箏曲部

10:00～11:10 記念講演 大友啓史氏（映画監督）

「アドリブを生きる力」

11:20～12:00 閉会式



▲大友啓史氏（映画監督）講演



▲大高参加者

▼盛岡市アイスアリーナ会場





大船渡東高校 太鼓部

和太鼓演奏

岩手県立大船渡東高等学校
太鼓部



花巻北高校 応援団



盛岡第二高校 箏曲部



北上翔南高校 鬼剣舞部



盛岡市立高校 吹奏楽部



岩泉高校 郷土芸能同好会

村上雅人氏（芝浦工業大学学長）の基調講演を拝聴して

PTA副会長 谷 地 保

去る8月20日、21日の2日間、盛岡・滝沢で開催された全国高P連岩手大会にて、芝浦工業大学学長で盛岡市出身の村上雅人先生の講演を拝聴致しました。

演題は「夢高くして足地にあり The sky is the limit」。ご自身のご経験や専門の超電導工学、教育の役割等をご教示下さいました。

講演の中で先生が「偉大な教師は学生の学びの心に火を付ける」と仰ったのが、特に印象に残りました。

「大学が何を教えたか」ではなく、「学生が大学で何を学んだか」という学修成果（アウトカムズ）を大切にし取り組んでいらっしゃる中で、いかに若者に夢を与える事が出来るか。若者が夢と希望を持ち、志を抱く。そして、自ら学び、修得し、無限の可能性に向かってチャレンジする。それを導くのが教師の役割だ、と仰いました。

これは、先生のみならず、私たち保護者も担わなければならないと痛感しました。子供たちが将来に思いを馳せ、チャレンジしていく事を願い、先生方と協力しながら、その後押しを頑張らねば！そう思わせていただけるとても素晴らしい講演でした。



平成28年度の高P連全国大会は
千葉県「幕張メッセ」を主会場に開催されます。



12.7 Mon.

清水寺

2年4組 今野佑稀

修学旅行一発目は、京都でも有数の観光地である清水寺に行きました。まず着いて驚いたことは人の多さでした。月曜日だったにもかかわらず、清水寺に行くまでの道は人で溢れていて進むのもやっとでした。ようやく仁王門の前に着いてそこでクラスごとの集合写真を撮影しました。その後はガイドさんに連れられて色々な場所に行きました。一通り見たあと自由時間がありました。各々好きな所に行き、紅葉を撮ったり、お土産を買ったりしていました。ちなみに私は、茶屋でお団子を食べていました(笑)もう一度行けるのであれば、生で今年の漢字を見てみたいです。



12.8 Tue.

奈良公園

2年5組 松野琳可

私たちは2日目の午前中、奈良公園に行きました。園内にある東大寺はとても大きな門で、そこを通りまっすぐ正面に進むと、講堂の中にすぐ大仏様が見えました。本当に大きく迫力に驚きました。しかし、大仏様の優しげなまなざしが印象的で、心が和みました。入り口から見て右手にある大きな柱には、下の方に小さな穴が開いていて、手前から奥にくぐると賢くなると言い伝えがあり、とても面白いと思いました。鹿がのんびりと暮らす雄大な広さの奈良公園には、たくさんの文化遺産があり、歴史にたくさん触れることが出来ました。

鹿寄せ体験

2年2組 花輪智美

私たちは2日目に、奈良公園で鹿寄せ体験をしました。奈良公園周辺に生息している1,400頭程の中から、ホルンを吹いて百頭近くの鹿を集めます。鹿はとても人懐こくて、人にすぐ近寄ってきます。公園内の売店で販売している鹿せんべいを持っていると、さらにたくさんの鹿がすごい勢いで集まってきます。動物好きの方は、是非、購入してみるといいと思います。鹿寄せは、動物好きの私にとってとても幸せな時間でした。これから体験する人にも楽しんでもらいたいです。

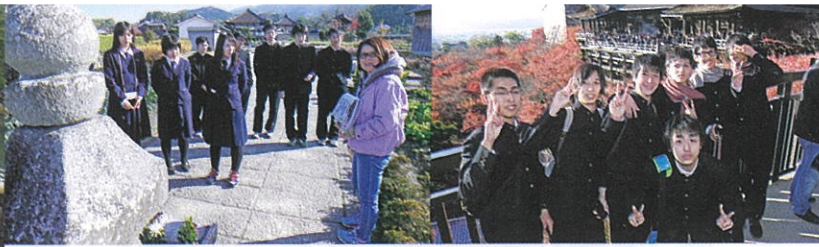
法隆寺

2年5組 八尾一晟

私達は2日目に法隆寺を見学しました。私は正直、法隆寺は見学する場所の中でも一番二番目につまらない場所だと思っていましたが、実際にはとてもすごい場所だということを知ることが出来ました。見どころはたくさんありましたが、私が最も印象に残っているのはやはり、五重の塔です。この五重の塔はよくテレビや写真等で目にしますが、やはり実物を間近で見ると、迫力が比べものになりませんでした。他にもすばらしい場所ばかりで、色々なことを学ぶことが出来た見学だったと思います。

修学





12.8 Tue.

薬師寺

2年4組 新 沼 初 美

法隆寺の見学後は、薬師寺でお坊さんの説法をお聞きしました。薬師寺には薬師如来、月光菩薩、日光菩薩が祀られていて、薬師如来の正式名称はとっても長いということを学びました。他にも薬師寺は特異な構造を持っていて、そのために美しい姿であるということも学びました。また、説法をしていただいたお坊さんがとても明るくてユーモアのある人で、関西の人はやっぱり面白いなと感じました。お坊さんの人柄のおかげでまったく眠くならず説法を聞くことが出来ました。普段聞くことが出来ないだけに、よい勉強になりました。

12.9 Wed.

明日香村レンタサイクル

2年3組 今 井 俊

修学旅行3日目は、奈良県の明日香村でレンタサイクルを行いました。美しい自然とのどかな田園風景を楽しみながら日本の文化・歴史に触れ、日本史の授業でも実際に習った大化の改新の話を詳しく聞けたり、天武天皇、持統天皇陵といった貴重な古墳を見ることが出来ました。ボランティアガイドの方々が見学先で歴史や文化の話を詳しくしてくださり、さらに理解を深められました。ボランティアガイドの方々にとても感謝しています。

この経験を通して、貴重な体験をたくさんして、さらに明日香村の自然も楽しむことが出来ました。明日香村レンタサイクルで学んだことを日本史の学習に生かしていきたいです。

ユニバーサルスタジオジャパン

2年3組 鷲 田 ほのか

修学旅行の一番の楽しみは、やはりユニバーサルスタジオジャパンですね！！初めて行くという人が多数で、当日は（USJ 内）がクリスマスバージョンで彩られ、テンション MAX でした。アトラクションは、やはり高校生になっても怖かったです。また、可愛いおみやげがたくさんあって選ぶのが大変でした。普段まじめな先生たちも、笑顔で夢の国を満喫していたのでとても面白かったです。

12.11 Thu.

姫路城

2年1組 菅 野 真 由

修学旅行最後の見学先は「姫路城」でした。あいにくの雨で木造の姫路城は、壁や柱が水を直に浴びたように湿っていましたが、古くからある城の本当の姿を物語っているようで、それを体験することが出来たのも、良い思い出のひとつなのかなと思いました。とても大きな城を、一人も迷子にならずに見学し終えることが出来てよかったです。天井の梁がむき出しで、階段の上り下りの際に頭をぶつけそうになってヒーヒーキャーキャー言いながら、何やら楽しそうにしている場面も見られたので、やはり修学旅行だと何でも面白く感じるようです。日々の生活も、これくらい何でも面白く感じられたら良いのと思いました。

旅行



平成27年度 部・同好会活動報告

硬式野球部

- 第97回全国高等学校野球選手権大会【2回戦敗退】
2回戦 大船渡 5-6 花巻南
- 第68回秋季東北地区高等学校野球選手権大会
沿岸南地区予選【県大会出場 地区第2代表】
1回戦 大船渡 2-1 金石商工
代表決定戦 大船渡 12-1 大船渡東
(6回コールド)
- 第1代表決定戦 大船渡 1-2 高田
- 第68回秋季東北地区高等学校野球選手権大会【1回戦敗退】
1回戦 大船渡 2-9 盛岡大附
(7回コールド)

バレーボール部 (男子)

- 第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会
岩手県予選会
1回戦 大船渡 1-2 一関高専
- 第63回岩手県高等学校新人バレーボール競技
1回戦 大船渡 0-2 不来方

バレーボール部 (女子)

- 第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会
岩手県予選会
1回戦 大船渡 0-2 盛岡誠桜
- 第63回岩手県高等学校新人バレーボール競技
1回戦 大船渡 2-0 伊保内
2回戦 大船渡 0-2 水沢商

空手道部

- 第37回東北高等学校空手道選手権大会
男子個人形 富澤拳真 2回戦敗退
野田康太 2回戦敗退
男子個人組手 富澤拳真 初戦敗退
女子個人組手 鎌田淳子 初戦敗退
男子団体組手 初戦敗退 (対 勿来工業高校)
女子団体組手 初戦敗退 (対 尚志高校)
- 第42回全国高等学校空手道選手権大会 (インターハイ)
男子個人形 富澤拳真 2回戦敗退
野田康太 初戦敗退
- 第33回岩手県高等学校新人空手道大会
男子個人形 富澤 拳真 優勝
女子個人形 松田ほのか 3位
女子団体組手 準優勝

ソフトボール部 (女子)

- 第62回岩手県高等学校新人大会ソフトボール競技
2回戦 大船渡 0-13 盛岡市立

ソフトテニス部 (男子)

- 新人戦
個人戦
2回戦 海山大拓・新沼英樹 4-1 盛岡一
3回戦 海山大拓・新沼英樹 0-4 黒沢尻北
2回戦 黒田知・若杉拓真 4-1 花巻南
3回戦 黒田知・若杉拓真 0-4 黒沢尻北
1回戦 村上颯哉・川口裕大 4-2 宮古商
2回戦 村上颯哉・川口裕大 0-4 黒沢尻北
- 団体戦
1回戦 大船渡 2-1 紫波総合
2回戦 大船渡 2-1 久慈
3回戦 大船渡 2-1 水沢
準々決勝 大船渡 0-2 盛岡工業 **ベスト8**
- インター大会
個人戦
1回戦 海山大拓・新沼英樹 0-4 黒沢尻北
1回戦 黒田知・若杉拓真 4-3 一関二
2回戦 黒田知・若杉拓真 2-4 黒沢尻北
- 団体戦
1回戦 大船渡 2-1 不来方
2回戦 大船渡 0-2 岩手 **ベスト8**

ソフトテニス部 (女子)

- 岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技
<個人戦>
1回戦 嶋村瑞香・佐藤彩加 4-2 宮古
2回戦 嶋村瑞香・佐藤彩加 0-4 一関二
阿部美和子・遠藤美礼 0-4 水沢
<団体戦>
1回戦 大船渡 1-2 一関二

陸上競技部

- 新人戦
村上 翼 400mH 第2位
田中杏奈 3000m 第7位
- 新人戦東北大会
村上 翼 400mH 出場
田中杏奈 3000m 出場
- 秋季陸上競技会
田中杏奈 3000m 第3位
今野明音 やり投 第2位
- 大船渡ポートサイドマラソン
泉田宗志 10km (高校生男子) 第5位

バドミントン部

- 第60回岩手県種目別バドミントン選手権大会
<男子ダブルス>
1回戦 鈴木悠・千葉 (大船渡) 0-2 千葉・横尾 (一関修紅)
2回戦 久保田・鈴木大 (大船渡) 0-2 高橋・川村 (黒沢尻工)
<男子シングルス>
1回戦 鈴木大 (大船渡) 0-2 佐々木 (花巻北)
<女子ダブルス>
2回戦 伊藤・金野 (大船渡) 2-0 佐藤・杉 (盛岡一)
3回戦 伊藤・金野 (大船渡) 2-0 川俣・清水 (盛岡商)
4回戦 伊藤・金野 (大船渡) 0-2 藤井・金野 (花北青雲)
<女子シングルス>
1回戦 伊藤 (大船渡) 2-0 里館 (盛岡誠桜)
2回戦 伊藤 (大船渡) 0-2 下瀬川 (花北青雲)
1回戦 今野 (大船渡) 0-2 園 (前沢)
- 第55回岩手県高等学校新人バドミントン大会
<男子学校対抗>
1回戦 大船渡 2-3 花泉
<女子学校対抗>
2回戦 大船渡 3-1 盛岡農
3回戦 大船渡 3-1 千厩
準々決勝 大船渡 0-3 盛岡市立
ベスト8
<女子ダブルス>
1回戦 今野・大畑 (大船渡) 2-0 伊藤・土谷 (専大北上)
2回戦 今野・大畑 (大船渡) 不戦勝 桑田・桑田 (久慈)
3回戦 今野・大畑 (大船渡) 0-2 森田・宮崎 (盛岡市立)
2回戦 伊藤・金野 (大船渡) 0-2 横田・千田 (前沢)
<女子シングルス>
2回戦 伊藤 (大船渡) 2-0 川俣 (盛岡商)
3回戦 伊藤 (大船渡) 0-2 木立 (前沢)
1回戦 金野 (大船渡) 0-2 佐藤 (盛岡三)

水泳部

- 第53回岩手県高等学校水泳新人大会 (競泳)
(岩手県営屋内温水プール)
<男子>
50m自由形 新沼 柊人 出場
100m自由形 新沼 柊人 出場
<女子>
50m自由形 村上 麗奈 出場
50m自由形 鈴木 響子 出場
50m自由形 新沼 薫乃 出場
100m自由形 新沼 薫乃 出場
100m平泳ぎ 鈴木 響子 出場
100m平泳ぎ 藤田 葵子 出場
200m自由形 今野 千尋 決勝第6位
400m自由形 今野 千尋 決勝第6位
400mリレー (藤田・新沼・村上・鈴木) 出場

サッカー部

- 第94回全国高等学校サッカー選手権大会
2回戦 大船渡 6-0 紫波総合
3回戦 大船渡 0-5 不来方
- 第50回岩手県高等学校総合新人サッカー大会
1回戦 大船渡 2-0 盛岡一
2回戦 大船渡 0-2 江南義塾
高円宮杯U18 iLEAGUE2015 Division1 7位

弓道部 (男子)

- 第34回全国高等学校弓道選抜大会岩手県予選会
(県営武道館)
男子団体 予選敗退
- 第54回岩手県高等学校新人大会 (県営武道館)
男子団体 **ベスト8**
(予選通過、決勝トーナメント1回戦敗退)

弓道部 (女子)

- 第34回全国高等学校弓道選抜大会岩手県予選会
(県営武道館)
女子団体 予選敗退
- 第54回岩手県高等学校新人大会 (県営武道館)
女子団体 予選敗退

山岳部

- 岩手山 (標高2,038m) 登頂 (8月)

卓球部 (男子)

- 第61回岩手県高等学校新人卓球大会
<男子学校対抗>
1回戦 大船渡 1-3 大野
<男子ダブルス>
山崎 海・石橋璃久 1回戦敗退

卓球部 (女子)

- 第61回岩手県高等学校新人卓球大会
<女子学校対抗>
2回戦 大船渡 3-1 黒沢尻北
3回戦 大船渡 0-3 盛岡市立 **ベスト16**
<女子ダブルス>
谷地双葉・村上由真 2回戦敗退
阿部裕里・氏家如菜 1回戦敗退
<女子シングルス>
阿部裕里・村上由真・森下莉江 2回戦敗退
氏家如菜・谷地双葉・千葉英恵 1回戦敗退

バスケットボール部 (男子)

- 第61回岩手県高等学校新人大会
1回戦 大船渡 70-66 水沢工
2回戦 大船渡 51-90 宮古商
- 県選抜大会 (ウィンターカップ県予選)
1回戦 大船渡 51-144 一関工

バスケットボール部 (女子)

- 県選抜大会 (ウィンターカップ県予選)
1回戦 大船渡 83-46 戸
2回戦 大船渡 45-62 花巻北
- 第61回岩手県高等学校新人大会
2回戦 大船渡 43-61 花巻北

柔道部

- 新人大会
男子団体試合3人制 優勝
決勝 大船渡 1-1 一関一…代表戦勝
男子個人試合66kg級 佐々木寛治 **ベスト16**
女子個人試合78kg級 津嶋 胡桃 第2位

定時制

卓球部 (男子)

- 第48回全国高等学校定時制通信制卓球大会
<男子団体>
2回戦 大船渡 2-3 金沢中央 (石川)
<男子個人>
4年 阿部友砂
2回戦 3-0 岩国商業東分校 (山口)
3回戦 0-3 長尾谷 (通信制) (大阪)
- 平成27年度岩手県高等学校定時制卓球競技秋季大会
<男子個人シングルス>
3年 川畑 椋 第3位
3年 鈴木康平 **ベスト8**
2年 伊藤将太 **ベスト16**
<女子個人シングルス>
2年 細川歩美 **ベスト4**

バドミントン部

- 第17回全国高等学校定時制通信制バドミントン大会
＜女子団体＞
(大船渡、一関一、杜陵宮古分室、久慈長内
合同チーム)
1 戦 岩手1-2 三重
複 (大船渡) 2-0 3年佐々木舞・森幸菜出場
単 1 (一関一) 0-2
単 2 (杜陵宮古) 0-2
■平成27年度第7回岩手県高等学校新人大会
バドミントン競技第2部
＜男子個人シングルス＞
2年 熊谷広幸 第3位

演劇部

- 平成27年度県南地区合同発表会 優良賞
■第38回岩手県高等学校総合文化祭演劇部門
優秀生徒講評委員 1年 大友円華
■平成27年度大船渡高校演劇部第2回自主公演

報道部

- 第38回岩手県高等学校総合文化祭新聞タ
イド版・その他の部門
＜奨励賞＞ 大船渡高校新聞第95号

美術部

- 第38回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展
第53回県下高校美術展
＜絵画部門入選＞
3年 阿部晶絵・大和田梨紗
2年 多田真理子・大和佑夏
1年 川原みなみ・小松真実
＜デザイン部門特賞＞
2年 大和佑夏 全国展推薦
1年 地野みれい

- ＜デザイン部門入選＞
2年 多田真理子 1年 菅野千寛
＜デザイン部門特賞＞
1年 地野みれい
＜立体部門入選＞
2年 大和佑夏 1年 地野みれい
■ハートフルエイステイイベントポスターコンクール
＜優秀賞＞ 2年 驚田ほのか
＜佳作＞ 1年 川原みなみ・地野みれい

吹奏楽部

- アンサンブルコンテスト 気仙支部大会
・打楽器三重奏 金賞
・フルート三重奏 金賞
・金管八重奏 銀賞
・サクソフオーン三重奏 銀賞
・クラリネット五重奏 銀賞
■全日本吹奏楽コンクール第53回岩手県大会 銀賞

音楽部

- 第67回全日本合唱コンクール岩手県大会 優良賞
■星野富弘画展 開会セレモニー演奏
■ふるさと復興チャリティコンサート出演
■第25回岩手県合唱小アンサンブルコンテスト 銀賞

書道部

- 第21回長野県現代書芸展
＜協会賞＞ 2年 海山真穂
■第24回国際高校生選抜書展
＜入選＞ 1年 三浦 萌
■第30回サンリア書初展
＜大賞＞ 1年 三浦 萌

文学部

- 第38回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
文芸部誌入選

JRC同好会

- 岩手県ポッチャ大会
■平成27年度岩手県高等学校文化連盟国際理解
専門部JRC委員会高校生大会
■2015おおふなとボランティアフェスティバル
■平成27年度第32回大船渡市社会福祉大会・社
会福祉推進校実践発表
■平成27年度ふれあいまつりボランティア(陸前高田)
■平成27年度岩手県高等学校文化連盟国際理解
専門部JRC委員会活動発表会
■平成27年度高校生ボランティアスクール(Join&Reaction)
■平成27年度岩手県国際交流活動研修会

囲碁将棋同好会

- 第24回岩手県高等学校文化連盟囲碁将棋新人大会
男子個人戦級位戦出場
2年 小山 杏
1年 高橋自然・岩淵颯太・熊谷颯士
男子団体戦Bリーグ出場
2年 小山 杏
1年 高橋自然・岩淵颯太・熊谷颯士
■第34回岩手県高等学校文化連盟将棋新人大会
男子個人戦A級出場
1年 高橋自然・岩淵颯太・熊谷颯士
男子個人戦B級出場
2年 村山 聡
男子個人戦C級出場
2年 小山 杏
男子団体戦A級出場
1年 高橋自然・岩淵颯太・熊谷颯士
男子団体戦B級出場
2年 村山 聡・小山 杏



全国・東北大会出場に向けて



第38回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展 【第53回県下高校美術展】デザイン部門特賞受賞



美術部 2年
大和 佑夏

今回、デザイン部門において、このような賞を頂いたことを、とても嬉しく思います。私にとって美術とは、いつでも身近にあるものです。私は小さな頃から絵を描くことが好きでしたが、自分より絵が上手な人は数え切れない程たくさんいて、自分の絵を他人に見られることが嫌な時期もありました。もっと上手に描きたいと、絵が上手な人のまねばかりしている時期もありました。「まねる」ことは「学ぶ」こととよく言われますが、私の場合は「まねる」ことで、自由に絵が描けなくなってしまいました。そんな時に何気なく描いていた単純な模様の繰り返し…その模様を描いていると、単純な作業の中で、ある法則が生まれ、それがまた繰り返されていくという…どんどん画面が埋まっていく面白さを感じることが出来ました。私にとっての美術とは、まさに模様の繰り返しのようなもので、一筆一筆描けるものは、ほんの小さな、そして単純な線ですが、夢中で筆を動かすことで生まれていくものだと思います。人それぞれ、自分の描きたい絵があるし、作りたいものがあると思います。それを生み出す第一歩で、他人の目や意見を気にしては満足のいく作品は決して生まれません。私はこれからも自由な気持ちで絵を描いていきたいし、他の誰もいない自分だけの感性を大切にしていきたいです。

美術とは身近にあるもの。美術とは自分自身のみが生み出せるもの。それが今回の作品制作を通して私が考えることが出来たことです。

また、部活動という場で、作品を作ることが出来たことも良かったと思います。

作品というものは一人で作っているように見えて、実はそうではないと思います。勿論、絵を描いたり、立体を作ったりするのは他の誰でもなく自分自身です。でも、もし同じ作品を作るとして、一つの部屋で一人だけで制作するのと、部活動の仲間と一緒に各々の作品を作り上げていくのでは全く違った内容の作品になると思います。仲間が頑張っている姿を見れば、自分ももっと頑張ろうと思うし、仲間が悩んでいれば、相談に乗ることが出来ます。高校生という大人とも子どもとも言い切れない微妙な年齢の今だからこそ表現

出来るものがあり、同じ一つの部屋で、それぞれの作品を制作することによって得る感情や体験は、この先もう味わえないのではないかと思います。

最後になりましたが、今まで私に指導をして下さった先生、そして部活のみんな、本当にありがとうございました。これからも宜しくお願いします。作品を審査して下さいました審査員の方々、本当にありがとうございました。

第29回東北高等学校空手道選抜大会を前に

空手道部 女子団体組手

女子は今回で3期連続で東北大会に出場します。ですが、毎回一回戦を突破できなかったため、今回こそは勝つことを目標に練習してきました。東北はスピードや技のキレが大事だと考え、男子を相手にスピードの早さに慣れたり、残心をしっかりとって技のキレを出せるように練習してきました。



第29回東北高等学校空手道選抜大会を前に

空手道部 松田 ほか



周りの人達から影響を受け、とても恵まれた環境の中で良い緊張感を持つ事ができ、この機会を無駄にしないようにと思いながら練習してきました。今年はお世話になった方々に恩返し出来るようにインターハイ出場を目標に、練習に励んでいきたいです。

第35回全国高等学校空手道選抜大会を前に

空手道部 富澤 拳真

今年度の奈良インターハイでは目標を達成できず悔しい思いをしました。その悔しさを糧にして選抜大会での上位入賞を目標に日々の練習に取り組んでいます。指導していただいているコーチや支えてくださっている全ての方々への感謝を忘れずに、自分の力を出し切れるようにがんばりたいと思います。





卒業生からのメッセージ

木村文律(平成元年度(平成2年3月)卒)

【プロフィール】

1972年1月生まれ。東京理科大学卒業、筑波大学大学院修了(スポーツ医学博士)。日本体力医学会、日本運動免疫学研究会会員。立正大学で僧階単位取得、日蓮宗総本山身延久遠寺にて教師認証。現在は、筑波大学非常勤研究員と大船山本増寺執事として活動。高齢者大学大学院(大船渡市主催)講師、子供たちの寺子屋塾や大人の寺子屋(本増寺主催)を行う。地域スポーツクラブ「Kesen Sports Resort」を設立、園児や小学生のサッカースクールを開催。

★野球少年から研究者に

高校2年の夏、小さい頃から野球に打ち込んできた私は、「将来の夢は何か?自分は何をしたいのか?」という進路を決める時期にきていました。「好きなスポーツをやる!」という漠然とした目標しか打ち出せませんでした。スポーツ医学に興味を持ち、無謀にも医学部を目指すことに。残念ながら医学部には行けませんでした。が、東京理科大で生物学を専攻、研究の面白さを学びました。大学院に進んだ頃、「将来やりたいことは何か?」と再び進路を決める時期がやってきました。ここでも「好きなスポーツをやる!」と目標に掲げ、筑波大学のスポーツ医学研究室に所属、博士号を取得しました。

研究は「運動と免疫」というテーマで、特に唾液中の免疫グロブリンAが運動によってどのような影響を受けるのかを、分子生物学的手法を用いて実験を行いました。選手のコンディショニングに役立つ研究をしています。研究は、決して一人では出来ません。先生や学生と協力しながら結果を出し、論文や学会で発表しました。研究は失敗だらけですが、一つひとつデータを積み重ねることによって、しっかりと成果を作り出すことが出来ます。研究の一番の魅力は、自分の研究は自分がナンバーワンだ!ということです。同じ研究というものはありません。個性と同じですね。研究成果を出すことで、海外も含めた多くの人たちと交流できることも魅力です。

★研究者と僧侶に、そして東日本大震災

博士号を取得する頃、また再び進路を決める時期が来ました。私の実家は本増寺というお寺で、僧侶としての仕事もする必要があります。「好きなスポーツも、必要な僧侶もやる!!」と二刀流を決意し、立正大学で仏教を学び、身延山久遠寺にて教師認証を受けました。お寺では、毎月の行事を通して檀信徒や地域の皆さんと交流しながら、お寺を運営しています。

2011年に発生した東日本大震災では、多くのお寺に避難し、寒さと停電と余震で不安な日々を過ごしました。全国から世界中から支援を頂き、また立ち上がる勇気も頂きました。台湾レスキュー隊がお寺に宿泊しながら人命救助を行い、JOC日本オリンピック委員会の医療チームも1ヶ月間診察と運動指導を行いました。3・11慰霊祭を毎年サンアンドレス公園にて開催していますが、多くの人が全国から台湾からも参加して頂いています。

★スポーツで街の活性化に!

スポーツは、多くの人たちを元気にさせる魅力があります。またスポーツは、多くの社会貢献を行うことも出来ます。筑波大学と早稲田大学は、住民の健康維持に少しでも貢献したいと、マッサージボランティアを仮設住宅で年数回行っています。筑波大学体育会(柔道、野球、バスケットボール)はスポーツ教室を毎年実施し、地

域スポーツのレベルを高めながら、子供たちと大学生とが交流する機会を作っています。また私は、「Kesen Sports Resort」というスポーツクラブを設立し、子供たちのサッカースクールやボランティア支援、スポーツセミナー開催といった地域活動を行っています。スポーツで地域を活性化させ、それが復興への原動力となしてほしいと思います。

2016年には「いわて国体」、2019年「ラグビーワールドカップ日本大会」、2020年「東京オリンピック・パラリンピック」が開催され、全国から世界中から多くの人が被災地を見に来ます。少しでも復興した姿を見せ、一緒にスポーツで楽しんでもらえるような環境を作りたいです。それが、多くの支援を受けた私たちの「恩返し」だと思います。震災はたくさんの悲しい出来事を起こしましたが、それ以上に人と人との絆を強める大きなパワーを生み出しました。多くの人が岩手に来て被災地を巡って、震災に負けず、復興に向けて力強く歩んでいる人たちと交流してほしいです。



★大高生の皆さんへ

皆さんへ伝えたいことのひとつ目が、常に学び続けることです。勉強は高校で終わりではありません。社会に出てからも続けなければなりません。自分で学び、考える力を身につけることが将来を切り開く原動力になります。二つ目は、自分に言い訳をしないことです。昨年行われたラグビーワールドカップでは、日本代表が大活躍しました。日本人が勝てないのは体が小さいからだ、と言い訳をしていては決して勝つことは出来ません。自分の能力はこれくらいだ、と努力もせずに諦めてはなりません。三つ目は、信頼を大切にすることです。震災時、世界中から多くの人が駆けつけてくれました。特に台湾は1999年大地震が発生した際、日本から多くの支援を受けました。今回はその恩返しとして、レスキュー隊が駆けつけ、最も多くの支援物資と義援金を日本に提供しました。日本と台湾との信頼が生み出した成果です。

皆さんは大高坂を下って社会に出ていく時、高校3年間で培った能力の芽をさらに磨き育て、希望という大輪の花を咲かせてほしいと思います。皆さんの可能性は無限大です!



編集後記

委員をさせて頂き、様々な方と接することができ良かったです。なかなか協力的な事はできませんでしたが、毎回とてもよい会報が出来上がったと思います。お礼です。(布田) 皆様から寄せられた想いにより、「さかみち」90号を発行できました。紙面を通して、大高生の活躍と保護者の熱い応援を伝えることができました。1年間ありがとうございました。(鈴木) 先生方、PTAの皆様のおかげで1年間広報委員として務めることが出来ました。ありがとうございました。(高橋) 大高生の皆さんを応援する気持ちでお手伝いさせていただきました。貴重な体験が出来良かったです。(川口) 大高出身者ではない私でしたが、他の委員の方々と、そして先生方のおかげで委員を務めることができました。感謝いたします。(田中) 1年間の短い間でしたが、広報委員として無事(無難?)に終えることができました。これもひとえに先生方と各広報委員の方々のお陰です。本当にありがとうございました。(阿部) 委員をさせていただいて、子供さんの成長を見たり聞いたりすることが出来て、私も成長することが出来たと思います。大変お世話になりました。(樺田) 今年度の冬号もお陰様で出来上がりました。これで終わりです。広報委員として活動してきた3年間は、とても有意義なものでした。会員の皆様のご協力に大変感謝しております。どうもありがとうございました。(菊地)

岩手県立大船渡高等学校PTA事務局 TEL.0192-26-4441 FAX.0192-26-0792

題字「さかみち」の文字は、元校長 只野弘三先生の直筆を用いております。